

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.776 2018

2018年5月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料62円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号
TEL：03-5367-6640 FAX：03-5367-6641
URL：http://www.ymcajapan.org/
発行人／神崎 清一 編集人／山根 一毅
印刷／あかつき印刷株式会社



平和を形にしていく



OPINION

核兵器禁止条約を生かすために

川崎 哲

（ピースボート共同代表、ICAN国際運営委員）



核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)は、昨年ノーベル平和賞受賞という光栄にあずかりました。核兵器の非人道性に注目を集め、核兵器禁止条約の成立に貢献したことが評価されたものです。ICANは2007年に発足したNGOの連合体で、101カ国468団体が参加しています。

核兵器禁止条約は、歴史上初めて、核兵器を全面禁止し、その完全廃絶への道を定めたものです。条約は前文で被爆者や核実験被害者が受けてきた苦難に言及し、いかなる核兵器の使用も国際人道法違反だとしています。そして、核兵器の開発、保有、使用、威嚇などを包括的に例外なく禁止しています。今日核兵器を保有する国には、国際的検証の下で核を廃棄していく道筋を定めています。さらに、核兵器の使用や実験による被害者に対する援助や、核実験などで汚染された環境を回復する義務を定めています。

条約は50カ国が批准した後に発効します。ICANは現在、世界各国の政府や議会に署名・批准に向けた働き掛けを行っています。

こうした中、日本政府は署名・批准しない方針です。その理由として政府は、核兵器禁止条約は「米国の核抑止力の正当性を損なうから」と述べています。核抑止力とは、核兵器を使用する姿勢を見せて相手を脅すことです。核兵器の惨害を身をもって経験した日本政府が、核兵器の使用や威嚇が正当だと公然と主張しているのは驚きです。このような政策の妥当性について、国民的な議論が必要です。

ICANは、核兵器の製造企業に融資をしている銀行などについて調査しました。その結果、世界329の金融機関が計55兆円を核兵器製造企業に融資し、うち日本の7銀行などが2兆円を占めることが分かりました。政府はもちろん、銀行や企業が核兵器に関わらないという規範を強めていく必要があります。

ピースボートは、被爆者の証言を世界に伝える航海を続けており、被爆者たちと共に活動するユースを大募集しています。YMCAとはこの数年、いくつかのプロジェクトで協働しました。核兵器禁止条約を生かしていくために、今私たちそして、ユースが動く時です。

OPINION…意味は「意見・見解」など。『THE YMCA』では毎号、関係ある団体・個人からの意見や提案を掲載します。

YMCAユースが平和のためにできること

広島YMCA 中興 岳生

被爆地である広島からの核兵器廃絶のメッセージは非常に大きな影響力を持つことから、広島YMCAでは、数年前からピースボート共同代表、ICAN国際運営委員の川崎哲氏と協力し、多くの核兵器廃絶に関する講演会やイベントのサポートを行い、SNSを通して情報発信をしています。そして今、この活動は、ヒバクシャから広島の多くの若者に受け継がれようとしています。2015年・2016年と、YMCAからチェンジエージェントやユースリーダーが、ICANやピースボートの活動に参加するために、ピースボートのクルーズに乗船し、船内での平和プログラムや寄港地での平和イベントを実施しました。

YMCAのユースが平和のためにできることは、まず世界の若者(特に東アジア)とつながることではないでしょうか。広島YMCAにおいても毎年、国際青少年平和セミナーを開催しています。100人及以上国内外のYMCAに所属するユースが広島に集まり、平和について学んでいます。国によって平和に対する考え方も違います。その違いを学び、知ることによって、お互いを理解し、友情が芽生えます。「友達がいる国とは争いたくない」と考えるユースを

増やすことは、YMCAのプログラムの大きな役割の一つです。

全国のユースの皆さんはまず、自分の所属するYMCAでの国際交流イベントに参加したり、ピースボートなどに乗船して海外のユースと自分との違いを知ることから始めてほしいと思います。他者との違いを「みつけ、つながって、自分をよくしていく」ことが、平和をつくる第一歩となるでしょう。

*2018年8月4～8日、広島での国際交流プログラム「第40回広島YMCA国際青少年平和セミナー」が開催されます。ぜひ詳細をご確認の上、お問い合わせください。



世界YMCA同盟・平和を学ぶ旅「ピースボートII」にてピースボードに乗船して、軍事費削減を広島でアピール!!

「もしもあなたが空爆や襲撃や地雷による殺戮^{さつりく}や武装集団のレイプや拉致におびえていなければそうではない20人より恵まれています」

これは『世界がもし100人の村だったら』の一節です。私が2016年に参加した、「YMCA地球市民育成プロジェクト」夏期研修のセッション内で、この部分を読んだ東ティモールの参加者が、「親族の一人を地雷によって亡くしました。私はその20人に含まれるかもしれない」と告げました。この時、私は衝撃を受けたのを今でも記憶しています。

東ティモールは、2002年にインドネシアから独立した、21世紀最初の独立国として知られています。しかしその背景には、ポルトガルによる植民地支配や第二次世界大戦期の日本軍の占領、独立を反対する政府軍によって破壊と虐殺が行われてきた歴史があります。

これまで遠い国として認識していた東ティモールが、実は日本と深く関わりがあり、また共に研修をする仲間も無関係ではなかったという事実、多くの参加者が悩み考えました。

私はこの経験から、平和を創るために必要な三つの姿勢を学びました。①過去の歴史から学ぶこと、②人の痛みを感じ当事者意識を持つこと、③国や世代を超えてお互いを理解すること。そしてこのような心構えを持って、平和の輪を各地に広げることが大切だと思いました。

この度、昨年末に行われた「第7回日中韓YMCA平和フォーラム」をきっかけとして、全国のYMCAから募ったユースメンバー13人による「北東アジア平和のためのYMCAユース平和委員会」が2018年3月に発足しました。そして、ユース平和委員会の初めてのキャンペーンとして、4月に「平和週間



東ティモールからの参加者の話を聞く
(2016年地球市民育成プロジェクト)

プログラム」を実施し、全国から平和の思いを込めて折鶴を広島に届けています。これからは、より一層平和の輪を広げるために、ユースが中心となって、YMCAに連なる皆さまと共に平和について考え、アクションを起こしてまいります。

Positive Net NEWS

ポジティブネット…互いを認め合い、高め合うことのできる、人の善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク

わいYおしゃべりクッキング

【大阪YMCA】

さまざまな理由で学校に行けなくなった経験を持つ10代の若者が、留学生と一緒におしゃべりしながら料理を作る「わいYおしゃべりクッキング」が、1月31日に始まりました。

この企画は、関西の大学生・短大生を中心に構成されている、大阪YMCAのユースボランティアサークル「Uni-Y (ユニワイ)」によるもので、「グローバルな視点からローカルな問題に取り組む」ことを目標に、ボランティア活動や海外研修を行っています。

今回の企画は自分の殻に閉じこもってしまいがちな不登校経験者にも、自分の世界を広げる機会を提供したい、という願いが込められてい



「オンノ・カウスエ」を食べながら全員で記念写真

ます。料理という身近な体験を通じて、将来の可能性を広げるために役立つ「異文化理解」「異文化協力のスキルを伸ばす」ことを目的とし、大阪YMCA国際専門学校の高等課程の協力のもとに実現しました。

記念すべき第1回の料理はミャンマー料理「オンノ・カウスエ (ココナツスープ麺)」で、ミャンマー出身の2人の留学生が、8人の参加者と協力しながら作り上げていき、とてもおいしく出来上がりました。

終了後、参加者から「普段話すことのない国の人と話せて良かった」「国際交流に興味を持てた」「料理づくりが楽しかった」という声が聞かれました。

Uni-Yメンバーとしては、何よりも参加者が異文化交流に興味をもって、積極的に留学生と交流する姿に喜び、今後の活動はもっと規模を大きくして、より素敵なプログラムを実施していきたいと思いました。

大阪YMCA Uni-Y 山内 沢真 西岡 侑香

*活動に興味をお持ちの方はぜひウェブサイトもご覧ください。



2018年度全国YMCA
インターナショナル・チャリティーラン開催

全国のYMCAでは、障がいのある子どもたちが楽しみながら自らの可能性を伸ばすことを願って、さまざまなプログラムを行なっています。これらを支援するために1987年、国際賛助会 (FCSC) の働き掛けにより「全国YMCA



東京YMCAインターナショナル・チャリティーランにてたくさんの応援を受け、快走!

インターナショナル・チャリティーラン」がスタート。2017年度はランナー、ボランティア、スタッフを含め15,000人以上が参加し、約4,600万円のご支援をいただきました。今年度は全国20カ所で開催されます。どうぞ奮ってご参加ください。

YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2018 開催スケジュール

YMCA	開催数	開催日/場所
北海道	第23回	5月13日(日) 北海道立真駒内公園
滋賀	第3回	6月3日(日) 希望が丘文化公園
山梨	第21回	6月9日(土) 甲府市小瀬スポーツ公園
とちぎ	第13回	6月24日(日) 道の駅 うつのみや ろまんちっく村
盛岡	第2回	9月23日(祝・日) 岩手県立大学
仙台	第24回	9月23日(祝・日) 東北学院大学 泉キャンパス
東京	第32回	9月23日(祝・日) 木場公園
大阪	第24回	9月24日(祝・月) 花博記念公園鶴見緑地 特設コース
千葉	第21回	10月13日(土) 船橋市運動公園
横浜	第21回	10月20日(土) みなとみらい21臨港パーク
奈良	第7回	10月21日(日) 平城宮跡
茨城	第5回	10月27日(土) 洞峰公園
神戸	第21回	11月3日(祝・土) しあわせの村
埼玉	第19回	11月3日(祝・土) 航空記念公園
名古屋	第25回	11月3日(祝・土) 名城公園
福岡	第9回	11月4日(日) 大濠公園・舞鶴公園
鹿児島	第9回	11月17日(土) 鹿児島県立吉野公園 運動芝生広場
広島	第24回	11月23日(祝・金) 広島市中央公園
和歌山	第6回	11月25日(日) 市民スポーツ広場 紀ノ川河川敷特設コース
熊本	第3回	12月9日(日) 熊本県農業公園 カントリーパーク

*詳細は各YMCAにお問い合わせください。

主催:各YMCA
共催:ワイズメンズクラブ国際協会東西日本区、日本YMCA同盟 国際賛助会
全国協賛:三菱商事株式会社、富士通株式会社
全国後援:内閣府、厚生労働省、(福)全国社会福祉協議会